

目標項目の設定の考え方(案)

1. 歯・口腔に関する健康格差の縮小

(目標) 歯・口腔に関する健康格差の縮小

指標	①3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合の増加
データソース	3歳児健康診査(母子保健法)
現状値	96.4%(R4年度実績)
ベースライン値	令和6年度地域保健・健康増進事業報告(R5年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	直近3回(令和2年～令和4年)の地域保健・健康増進事業報告における3歳児のう蝕有病状況のデータから、3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合を求めて、直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する。

指標	②12歳児でむし歯のない者の割合の増加(90%以上)
データソース	佐世保市学校歯科健診
現状値	71.4%(R4年度実績)
ベースライン値	令和5年度長崎県学校保健統計調査(R5年度実績)を予定※令和6年2月末公表
目標値	
目標値の考え方	直近10回(平成25年～令和4年)の学校保健統計調査における12歳児のう蝕有病状況のデータから、う蝕のない者の割合を求めて、直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する。

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

指標	③40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合の減少(60歳代までの各年代で抽出)
データソース	要検討
現状値	6.3%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診より
ベースライン値	要検討
目標値	
目標値の考え方	<p>直近値(現状値)は佐世保市成人歯科健診より、40歳以上の受診結果より抽出 40歳代～80歳以上までの受診総数は799人 40歳代～80歳以上までで19本以下の者は、データ総数50人であったものを単純平均で示している。 ※国の目標値は、5歳階級別に平滑化人口による年齢調整を行い算出し、直線回帰モデルによる将来推計を行い設定されている。</p> <p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討</p> <p>①新型コロナウイルス感染症流行時期の影響等も考慮して、直線回帰モデルは前後、直近6回(平成29年度～令和4年度)を直線回帰モデルにより将来推計を行い設定する</p> <p>②国と同様に年齢調整を図り、40歳以上として直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する</p> <p>③各年齢層に把握できるように各年齢層別に年齢調整は行わず直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する</p> <p>④各年齢層別に上限を定め、60歳代までの各年代で抽出する</p> <p>⑤佐世保市成人歯科健診以外の歯科健診実績より設定する</p>

2. 歯科疾患の予防

(目標) 治療していないむし歯を有する者の減少

指標	④20歳以上における未処置歯を有する者の割合の減少
データソース	要検討
現状値	37.2%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診より
ベースライン値	要検討
目標値	
目標値の考え方	<p>直近値(現状値)は佐世保市成人歯科健診より、20歳以上の受診結果より抽出 20歳代～80歳以上までの受診総数は1213人 20歳代～80歳以上までで未処置歯を有する者は、データ総数451人であったものを単純平均で示している。 ※国の目標値は、5歳階級別に平滑化人口による年齢調整を行い算出し、直線回帰モデルによる将来推計を行い設定されている。</p> <p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討</p> <p>①新型コロナウイルス感染症流行時期の影響等も考慮して、直線回帰モデルは前後、直近6回(平成29年度～令和4年度)を直線回帰モデルにより将来推計を行い設定する</p> <p>②国と同様に年齢調整を図り、20歳以上として直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する</p> <p>③各年齢層に把握できるように各年齢層別に年齢調整は行わず直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する</p> <p>④各年齢層別に上限を定め、60歳代までの各年代で抽出する</p> <p>⑤佐世保市成人歯科健診以外の歯科健診実績より設定する</p>

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)根面むし歯を有する者の減少

指標	⑤60歳以上における未処置歯の根面むし歯を有する者の割合の減少
データソース	要検討
現状値	未把握
ベースライン値	要検討
目標値	
目標値の考え方	<p>直近、令和4年度までの佐世保市成人歯科健診では、未処置歯だけの把握であり、根面う蝕(むし歯)までの細分化した口腔診査は未実施であったため未把握。</p> <p>令和5年度より佐世保市成人歯科健診の診査項目に追加したため、次年度より把握可能となるが、直近1年間のみの実績である。</p> <p>【本市の検討内容】(案)</p> <p>※本市においては、下記の要領にて検討</p> <p>①実績の積み上げがないためと直線回帰モデルによる将来推計を行い設定することが難しい</p> <p>②目標値を設定するにはあたらないのではないのか？(目標指標の必要性があるのか？)</p>

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)歯肉に炎症所見を有する者の減少

指標	⑥中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少
データソース	長崎県学校保健統計調査(中学生: 佐世保市教育委員会 学校保健課把握)中1～中3 (高校生: 長崎県教育委員会)高1～高3
現状値	中学生: 1.7%(R4年度実績) 高校生: 現時点、未把握
ベースライン値	令和6年度長崎県学校保健統計調査(R5年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	直近3回(令和4年度～令和6年度統計調査)の結果をもとに、直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する ただし、市内の高校生の実績について現時点未把握のため、データ収集についての検討が必要 【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ①市内高校生のデータ把握についての調整 ②学校関係者の委員の方々からの情報提供

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)歯肉に炎症所見を有する者の減少

指標	⑦20歳代から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合
データソース	要検討
現状値	60.9%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診より
ベースライン値	要検討
目標値	
目標値の考え方	<p>直近値(現状値)は佐世保市成人歯科健診より、20歳代～30歳代の受診結果より抽出 20歳代～30歳代までの受診総数は414人 20歳代～30歳代までで歯肉に炎症所見を有する者は、データ総数252人 (データ内訳)BOP出血あり 20歳代109人、30歳代143人</p> <p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討</p> <p>① 本市の現時点のデータは、佐世保市成人歯科健診結果となるため、この年代層は、妊産婦歯科を目的として得られた結果となるため、指標内容に対しての偏りがあるため、指標内容に「妊産婦対象」を追記して抽出・標記していくこともあり</p> <p>②新型コロナウイルス感染症流行時期の影響等も考慮して、直線回帰モデルは前後、直近6回(平成29年度～令和4年度)を直線回帰モデルにより将来推計を行い設定する</p> <p>③佐世保市成人歯科健診以外の歯科健診実績より設定する</p>

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)歯周病を有する者の減少

指標	⑧40歳以上における歯周炎を有する者の割合
データソース	要検討
現状値	52.8%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診より
ベースライン値	要検討
目標値	
目標値の考え方	<p>直近値(現状値)は佐世保市成人歯科健診より、40歳以上の受診結果より抽出 40歳代～80歳以上までの受診総数は799人 40歳代～80歳以上までで歯周炎を有する者は、データ総数422人であったものを単純平均で示している。 (データ内訳)CPIポケット4～5mm+ CPIポケット6mm以上 40歳代99人、50歳代115人、60歳代168人、70歳代31人、80歳代9人</p> <p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ①新型コロナウイルス感染症流行時期の影響等も考慮して、直線回帰モデルは前後、直近6回(平成29年度～令和4年度)を直線回帰モデルにより将来推計を行い設定する ②各年齢層に把握できるように各年齢層別に年齢調整は行わず直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する ③各年齢層別に上限を定め、60歳代までの各年代で抽出する ④佐世保市成人歯科健診以外の歯科健診実績より設定する</p>

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)より多くの自分の歯を有する高齢者の増加

指標	◎80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合
データソース	長崎県後期高齢者広域連合「お口いきいき」健康支援事業
現状値	
ベースライン値	令和5年度長崎県後期高齢者広域連合「お口いきいき」健康支援事業(R5年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	<p>直近値(現状値)は佐世保市成人歯科健診では、80歳(75歳～84歳まで)のデータ数となる実績が少ないため長崎県後期高齢者広域連合「お口いきいき」健康支援事業の佐世保市実績をデータソースとする考え 事前の問い合わせにより、データ数100件程度あり</p> <p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ①佐世保市成人歯科健診以外の歯科健診実績より設定する ②県広域連合へのデータ依頼と調整をおこなう</p>

3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

(目標) よく噛んで食べることができる者の増加

指標	⑩50歳以上における咀嚼良好者の割合
データソース	特定健診問診(質問紙13)「何でもかんで食べることができる」
現状値	75.2%(R4年度実績)
ベースライン値	令和5年度特定健診問診(質問紙13)「何でもかんで食べることができる」(R5年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	<p>本市の国民健康保険加入者の特定健診問診結果になるが、市民全体が利用できる佐世保市成人歯科健診の50歳(50歳～80歳以上まで)のデータ数と比較すると、特定健診問診が40歳以上の市国保加入のすべてのお口の状況把握が可能となることと、国(厚生労働省)からの説明より自治体毎の既存のデータを活用していくことが必要とされているため。</p> <p>(データ内訳)R4年度実績 40歳～75歳のデータ数 11,981人 50歳以上～75歳まで 11,258人(うち、何でもかめる 8,470人)</p> <p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ①佐世保市成人歯科健診以外の歯科健診実績より設定する ②今後のDX化によるデータの取り扱いと現在使用している健康管理システムの方向性について調整をおこなう必要あり ③佐世保市成人歯科健診結果を利用する場合には60歳代までの各年代で抽出をおこなう</p>

4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健

(目標) 障がい者(児)の歯科口腔保健の推進

指標	①障がい者(児)支援施設(施設入所支援)での過去1年間の歯科健診実施率
データソース	市内対象施設へのアンケート調査
現状値	42.9%(R4年度:最終評価時点)
ベースライン値	令和6年度 市内対象施設へのアンケート調査 (R6 年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	令和4年度(2022年度)最終評価同様に、令和6年度の調査対象施設となる施設先へのアンケート調査を実施 【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ①市内対象施設へのアンケート調査内容の検討が必要

指標	②居宅系サービスを利用している障がい者(児)の過去1年間の歯科健診受診率・歯科受診率
データソース	勘案事項整理表(居宅サービス書式)より
現状値	未把握
ベースライン値	勘案事項整理表(居宅サービス書式)の調査開始時期からの実績(R5.●月～)を予定
目標値	
目標値の考え方	【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ① ②

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標) 要介護高齢者の歯科口腔保健の推進

指標	⑬介護老人福祉施設、介護医療院及び介護老人保健施設での過去1年間の歯科健診実施率
データソース	市内対象施設へのアンケート調査
現状値	37.0%(R4年度:最終評価時点)
ベースライン値	令和6年度 市内対象施設へのアンケート調査 (R6 年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	令和4年度(2022年度)最終評価同様に、令和6年度の調査対象施設となる施設先へのアンケート調査を実施 【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ①市内対象施設へのアンケート調査内容の検討が必要

(目標) 75歳以上の独居高齢者の歯科口腔保健の推進

指標	⑭75歳以上の独居高齢者の過去1年間の歯科健診・歯科受診者数
データソース	75歳以上の独居高齢者訪問時に聞き取りなどで把握
現状値	未把握
ベースライン値	75歳以上の独居高齢者訪問時に聞き取りなどで把握開始時期からの実績(R5.●月～)を予定
目標値	
目標値の考え方	【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討 ① ②

5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

(目標) 歯科健診の受診者の増加

指標	⑮過去1年間に歯科健診を受診した者の割合
データソース	佐世保市民の健康に関する調査
現状値	55.1%(R4年度実績)
ベースライン値	令和6年度 佐世保市民の健康に関する調査 (R6 年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	<p>【本市の検討内容】(案) ※本市においては、下記の要領にて検討</p> <p>①佐世保市健康増進計画の第3次けんこうシップさせぼ21での佐世保市民の健康に関する調査で市民全体の歯科健診に対する動向調査の把握をおこなう</p>

(目標) むし歯予防の推進体制の整備

指標	⑯乳幼児施設、小中学校におけるフッ化物洗口実施施設
データソース	乳幼児施設、市立小中学校における実施施設
現状値	乳幼児施設(保育所、認定こども園、幼稚園)77.5%(R4年度実績) 小学校・中学校 100%(R4年度実績)
ベースライン値	令和6年度 乳幼児施設、小中学校におけるフッ化物洗口実施施設アンケート調査 (R6 年度実績)を予定
目標値	
目標値の考え方	<p>令和6年度の調査対象施設となる乳幼児施設、市立小中学校における実施施設へのアンケート調査が従来通りに必要となる</p> <p>【本市の検討内容】(案)※本市においては、下記の要領にて検討</p> <p>①長崎県国保・健康増進課の県内状況調査の動向をみて検討を図る(調査基準日:例年8月1日現在)</p>